

「認知症サポーター養成講座」を職員105名が受講

～ 認知症サポーターの資格者が610名に ～

大阪シティ信用金庫（本店 大阪市、理事長 河村正雄）は9月9日、職員を対象に「認知症サポーター養成講座」を開催し、105名が受講しました。この講座は、認知症の方やその家族の応援者である「認知症サポーター」を養成するもので、当金庫では4回目の開催となります。

参加者は、認知症に関する正しい知識や認知症の方との接し方、支店窓口やATMコーナーでの対応などについて熱心に講義を受け、受講後、認知症サポーターの証としてブレスレット（オレンジリング）を授与されました。

当金庫の認知症サポーター資格者は、今回の受講者を含め610名となりました。今後とも、同サポーターの養成に取り組むとともに、安心して暮らせる地域社会づくりに貢献してまいります。

記

1. 認知症サポーター養成講座

- (1) 開催日 平成28年9月9日（金）
- (2) 場所 本店2階ホール
- (3) 参加者数 105名
- (4) 講師 大阪市認知症介護指導者 今堀 富美代 氏

2. 認知症サポーターについて

認知症を正しく理解し、認知症の方やそのご家族を温かく見守り支えていく応援者です。厚生労働省では「認知症サポーターキャラバン事業」として平成17年から同サポーターの養成に取り組んでおり、人数は平成28年6月末現在、全国で約773万人となっています。



講座の様様



講師を務める今堀富美代氏

以上